

順天堂大学保健看護学部 教員公募
【応募書類記入要領】

教員個人調書／文部科学省:様式第 4 号 (その 1) 準拠

- (1) 「氏名」欄については、旧姓等の通称名を使用している場合、() 書きで本名を併記してください。
- (2) 「生年月日 (年齢)」欄の年齢には、作成日時点での満年齢を記入してください。日付は西暦、和暦いずれも差し支えありませんが、文書内で表記を統一してください。
- (3) 「学歴」欄について
- ①高等学校卒業以上の学歴 (大学の別科及び専攻科を含む) を有する場合、すべての学歴 (授与された学位及び称号を含む) を記入してください。なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - ②学位については、付記された専攻分野の名称及び学位論文の題目を併記してください。
例 1) 「○学修士」、「○学博士」
例 2) 「学士 (専攻分野)」、「修士 (専攻分野)」、「博士 (専攻分野)」
※必ずご自身の授与された学位記を確認し、学位記通りに記入をしてください。
 - ③教員、学芸員、図書館司書、弁護士等の資格についても記入してください。その際、取得年月、登録番号を併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - ④学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - ⑤外国の大学等での学歴・経歴を記載する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記載してください。職歴についても同様に扱ってください。
- (4) 「職歴」の欄について
- ①大学において専任教員である場合の職名は、教授、准教授、講師、助教、助手のいずれかを記入してください。
 - ②各職歴について在職期間を明確にし、現職については「現在に至る」と記入してください。
 - ③研究者としての外国の大学や研究機関等での留学・研究歴についても記入してください。
 - ④過去に文部科学省の教員組織審査において教員の資格があると認められた場合には、当該審査に係る時期、大学の名称、職位及び担当授業科目の名称 (大学院にあつては、判定結果を含む) を記入してください。また、過去に教職課程設置審査を受けた場合には、当該認定に係る時期、大学の名称、担当授業科目の名称を記入してください。
 - ⑤大学教員等の職歴については、主な担当授業科目を併記してください。

(5) 「学会及び社会における活動等」の欄について

- ①「現在所属している学会」には、記入時において所属する学会の名称を記入してください。
- ②学会及び社会における活動等のうち、専攻や研究分野等に関連する事項を記入してください。
- ③教育研究上の業績を有する場合、その内容を具体的に記入してください。

(6) 「賞罰」の欄には、公的機関、学会、出版社等からの表彰又は職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。

(7) 「現在の職務の状況」の欄について

- ①「現在の職務の状況」の欄には、申請日における職務の状況について記入してください。
- ②「職名」については、大学等の教員の場合は、「教授」「准教授」等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、「取締役」「理事」等の職名を記入してください。職名が無い場合は「－」を記入してください。
- ③勤務状況については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。
- ④他大学等の兼任教員の場合は、「勤務先」に大学名、「職名」に兼任、「学部等又は所属部局の名称」に学部学科名（全学共通の場合などは適宜わかるような表記）、「勤務状況」は週あたりの勤務日数または担当コマ数を記入してください。
- ⑤大学以外の業務の場合は、従事する職に応じて実態がわかるように適宜記入してください。
- ⑥常勤、非常勤を問わず、定期的に従事する職についてはすべて記入してください。
- ⑦名誉職のような場合で、定期的な勤務がない場合は記入不要です。
- ⑧ ⑦の場合を除き、勤務実態のある業務については記入漏れの無いように注意してください。
- ⑨記載内容は以下の例を参照し、実態が明確になるように記載してください。

(例)

〔勤務先〕	〔職名〕	〔所属部局の名称〕	〔勤務状況〕
△△大学	准教授	××学部●●学科	担当：「○○文化論」、「××」
○○協会	理事（非常勤）	総務	2日／週
××大学	非常勤講師	講師	担当：「××文化」（週2コマ）

教育研究業績書／文部科学省:様式第 4 号 (その 2) 準拠

(1) 「氏名」の欄について

「氏名」の欄には、旧姓等の通称名を使用している場合、() 書きで本名を併記してください。

(2) 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について

「研究分野」の欄には、科学研究費補助金の「系・分野・分科・細目表」の分科レベルの名称（研究分野・細目表）を用いて、研究分野の主なものを3つ以内で記入してください。「研究内容のキーワード」の欄には、同表の細目を参考に、研究内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。なお、分科レベルに該当する分野等がない場合は、適宜、記入してください。

(3) 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について

- ①「事項」の項には、各区分に該当する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
- ②「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を記入してください。
※日にちまで記入してください。
- ③「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における役割や成果等を記入してください。

④「教育上の能力に関する事項」の例

ア 「1 教育方法の実践例」について

- 授業外における学習を促進する取り組み、授業内容のインターネット上の公開等
- 教育委員会や教員研修所等の教育機関における教育経験

イ 「2 作成した教科書、教材」の例

- 授業や研修指導等で使用する著書、教材等

ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」

- 学生による授業評価、教員による相互評価、表彰等の結果
- 各大学における自己点検・評価での評価結果
- 採用決定の際等における評価内容

エ 「4 実務の経験を有する者についての特記事項」

- 大学から受け入れた実習生等に対する指導
- 教育委員会や職能団体等の依頼による研修指導等
- 訴訟・審判・監査・企業提携・研究開発等の専門的な実務に関する教育・研修
- 大学の公開講座や社会教育講座における講師、シンポジウムにおける講演等

オ 「5 その他」

- 大学教育に関する団体等における活動、教育実績に対する表彰等
- 国家試験問題の作成等

⑤「職務上の実績に関する事項」の例

ア 「1 資格、免許」

- 教員、学芸員、図書館司書、弁護士等の資格で担当予定授業科目に関連するもの

イ 「2 特許等」

- 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの

ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項」の例

- 大学との共同研究
- 訴訟、審判、監査、企業提携、研究開発等の担当実績
- 各種審議会、行政委員会、各種研究会等の委員
- 行政機関における調査官等
- 研究会、ワークショップ、研修会等での報告や発表
- 調査研究、留学、海外事情調査等
- 上記を裏付ける報告書、手引き書、マニュアル、雑誌等

エ 「4 その他」

- 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
- 論文の引用実績等

(4)「研究業績等に関する事項」の欄について

- ①「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において発表済みのもののみ記入してください。
- ②「著書、学術論文等の名称」の項について
 - ア 研究等に関連する主要な業績を「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
 - イ 「(著書)」については、書名を記入してください。
 - ウ 「(学術論文)」については、学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文については、その旨を明記してください。
 - エ 「(その他)」については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを記入してください。
 - オ 査読付きの論文については、題名の後に「(査読付)」と記載してください。
- ③「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。
- ④「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を記入してください。
- ⑤「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
 - ア 著書については、発行所を記入してください。
 - イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
 - ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。

⑥「概要」の項について

- ア 当該著書等の概要を 200 字程度で記入してください。
- イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページを記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと）を含め、著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。